



【テーマ聖句】

「まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」
(ルカによる福音書 11 章 13 節)

2021 年 1 月 6 日(水)

私には何もないのです

「主よ、祈ることを教えてください」と弟子たちは嘆願しました。彼らはイエスが日ごとに、天の父とどれほどつながっておられるかを見て、自分たちにも同じ力が与えられるように強く求めたのでした。

イエスは、3つの部分に分けて、覚えやすい祈りの教訓をお与えになりました。それらは、主の祈り、真夜中に訪れた友人のたとえ話、そしてクライマックスの、絶えず聖霊を求め続ける必要性についてです。

(ルカによる福音書 11 章 1～13 節)

このたとえ話 (5～8 節) を読むと、友人が夜遅くに到着した時、彼にはもてなすものが何もありませんでした。そこで近所をお願いに出かけます。もてなすものが何もないからパンを与えてくれるように求めるのです。パンがもらえるまで執拗に求め続けた結果、ついに友人と自分の 2 人分のパン — 命のパン — をようやく手に入れることができたのでした。このたとえ話の中で、私たちは他の人と何かを分かち合うためには、イエスのもたなければならぬことを学びます。命のパンを他の人に提供したいと思うとき、私たちはまず自分は与えるものを何も持っていない、ということを認めるべきです！

それからイエスは、このたとえ話のキーワードである「私には何もない」を、聖霊を求める必要と結び付けておられます。「そこで、わたしは言うておく。求めなさい。そうすれば、与えられる。」

(ルカによる福音書 11 章 9 節)

「だから聖霊を求めなさい」とイエスは私たちに招いておられます

ルカによる福音書 11 章で、イエスは私たちが地上の生活において聖霊を求めるべきだと 10 回も強調して言っています。しっかりと心に留めるように、これほど愛をもって迫っておられる箇所を他に知りません。

「そこで、わたしは言うておく。求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。あなたがたの中に、魚を欲しがる子供に、魚の代わりに蛇を与える父親がいるだろうか。また、卵を欲しがるのに、さそりを与える父親がいるだろうか。このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」 (ルカによる福音書 11 章 9～13 節)

* 著者が使用している欽定訳では「パンを欲しがる子どもに石を与える父親がいるだろうか」が含まれているため、全部で 10 回になります)

この短い聖句の中で、イエスは「求める／欲しがる」という動詞を 6 回用いています。そして行動を表す「探す」という動詞を 2 回、「門をたたく」という動詞を 2 回用いています。聖霊に満たされるためには、私たちが「行動」を起こす必要があることをイエスはここにはっきりと示しておられます。また最後の「求める」はギリシャ語では進行形が使われています。つまり私たちが聖霊を求めるのは一度きりのことではなく、求め続けるように意図しておられるということです。イエスはあたたかな招きを通して、私たちの心に聖霊を求める思いを起こさせようと願っておられます。イエスの招きの注目すべき点は、もし聖霊に満たされることを私たちが求め続けたいとするならば、それはイエスに従うための重大な何かが決定的に欠けていると確信されていることです。

『キリストの実物教訓』の中には次のように記されています。「一度だけ求めよ、そうすれば、与えられるであろうと、神は、言っておられない。神は求めよと命じておられる。根気よく祈り続けなさい。求め続けることは、祈るその人をもっと熱心にし、求めているものに対する願いを更に増大する。」

(『希望への光』 1,239 ページ)

なぜ、イエスご自身が、日々の祈りにそれほど時間を取られたのか考えてみてください。エレン・G・ホワイトは次のように著しています。「朝ごとに彼は天の父と交われ、日ごとに聖霊のバプテスマを受けられた。」 (『Signs of the times』 Nov. 21, 1895 英文)

イエスは私たちの模範です。私たちは自問しなければなりません。「もしイエスが、日ごとに聖霊による新しい力を必要としておられたならば、いったい私たちにはどれほど必要なものであろうか」と。

教会員の証しとチャレンジ

「2 年間、自分の生活の中に聖霊が満ちあふれるように祈り続けています。私の願いは、一日も欠かさず、キリストがずっと私の中に住んでくださることです。この祈りを始めてから、神様と共にある日々は驚くべきものになっています。キリストが私の内に住んでくださるように、御心を行ってくださるように、聖霊によって日々新しくしてくださるように願うようになってから、ガラテヤ 5 章に書かれている御霊の実が、生活の中でよりはっきりと理解できるようになってきました。

聖書を読んでいても、ほかの人と分かち合っているだけでも、これまで以上の喜びを感じ、他の人々のためにもっと祈りたいと思うようになりました。それ以上に、私のライフスタイルが劇的に変わりました。日々神様を求め、聖霊を求めているうちに、これまで信じられなかったことが確信として与えられるようになったのです。あなたも日々聖霊に満たされるように、まず 6 週間祈ってみて、あなた自身がどう変わっていくかを見届けてください。」 (C.H.)

【神の御言葉によって祈る】

私たちの祈りは、なぜ聞かれないのでしょうか？

「得られないのは、願い求めないからで、願い求めても、与えられないのは、自分の楽しみのために使おうと、間違った動機で願い求めるからです。」 (ヤコブの手紙 4 章 2 下句、3 節)

天の父よ、聖霊を求め続けようとしなかったことを赦してください。あなたは忠実な方なので、私たちが罪を告白するときに罪を赦してください。

私たちが求めるかどうかは、神の恵みにどれだけ信頼しているかを示します

「このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」 (ルカによる福音書 11 章 13 節)

父よ、私たちに聖霊を与えてくださると約束して下さったことを感謝します。今、聖霊の注ぎを求めます。答えてくださることを感謝します。この約束に信頼することを教えてください。

神は、私たちに命を豊かに与えたいと願っておられます！

『わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その人の内から生きた水が川となって流れ出るようになる。』イエスは、御自分を信じる人々が受けようとしている“霊”について言われたのである。」（ヨハネによる福音書 7 章 38、39 節）

主よ、あなたを信じる者に生きた水の川を与えてくださることを感謝します。日々、キリストに委ねて生きることができるように助けてください。私たちの生活の中で、この約束を成就してください。

【更なる祈りの提案】

感謝と讃美： 具体的な祝福を感謝し、神の憐れみのゆえに讃美をささげましょう。

告白： 個人的な告白のために時間を取り、神の赦しのゆえに感謝をささげましょう。

願い： 私のチャレンジと決心のために、神様が知恵を与えてくださるように祈りましょう。

教会のために： 私たちの教会、地域の教会、世界中の教会の働きを神様が祝福してくださるように祈りましょう。

人々の必要のために： 教会員、家族、隣人の必要のために祈りましょう。

静かに耳を傾け、

応答しましょう： 神のみ声を聞くために静かな時間を過ごし、讃美と歌で応答しましょう。